

7/25
2007年 第950号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
敬 志岐 会
大 行 人 志岐 敬
市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代表)
http://osk-net.org/
● 定価・年間10,000円 月1,000円
● 1977年5月23日第三種郵便物認可



街頭宣伝で署名に協力する市民＝11日、JR「京橋」駅

医療改悪許さない活動を

健診や街頭宣伝で署名・パンフ活用

協会では、来年度の国の予算編成や診療報酬改定、後期高齢者医療制度などの改善に向け、さまざまな運動を呼びかけている。保険でよい歯科医療の実現や、子どもの医療費助成の拡充をめざす二つの署名に取り組んでいる。

この署名を促進するため6月末に、会員には署名用紙各10枚(5人連記)、後期高齢者医療制度の内容をシミュレートし分かりやすいイラスト

11日には医科協会と共催で街頭宣伝に取り組んだ。後期高齢者医療制度は年齢による差別医療制度であることやレセプトオンライン化は情報漏えいの可能性があること、生命保険会社などがデー

タを儲けのために活用しようとしていることなどの問題を訴えた。1時間足らずの宣伝で『後期高齢者ハンドブック』を750冊配布した。

来年の診療報酬改定では歯科医療機関への一層の締め付けが予想される。協会はこれ間、各地の健康教室や健康診断、単位老人クラブ会長研修会などでパンフを活用し、歯科医療や口腔管

理の重要性を訴え、改悪を許さないための多彩な活動を展開している。東大阪・八尾・柏原地区では15日、医療生協八尾クリニックで歯科健診に取り組んだ。海道充氏(八尾市開業)と衛生士2人が出務し、47人の口腔をチェックし定期的に歯科医院を受診することの

大切さを伝えた。合わせて署名活動も行い、同クリニックにも署名活動に協力してもらえらることになった。今後、会員の皆様には

協会は第5回理事会を14日、保険医会館で開き、副理事長・理事の担当専門部などの執行体制を決定した(2面に関連)。

6月から始めた「保険でよい歯科医療の実現を求め」請願署名と「子ども医療費助成制度の拡充を求め」大阪府民連合会を募集していくことにした。

兵庫協会が発行した、保険で十分な歯科医療ができない問題を鋭く追究したパンフレット「どう購入して、今後会員に配付して、署名を広げる宣伝資料にすることにした。またこのパンフを活用し、保険でよい歯科医療の実現を求める」地方自治体意見書の採択に向け、8月から市町村議会に地区として要請する。

「保険でよい歯科医療の実現を求める」請願署名は年末予算編成に活用するため11月まで、「子ども」署名は9月下旬に開かれる大阪府議会前をめぐり府下で10万筆を目標に、協会も加わる「子ども医療費助成制度の拡充を目指す大阪府民連合会」で取り組む。

参議院選挙

争点

— 最終回 —

小澤 力 (副理事長・政策部長)



参院議員選挙の投票日が目前に迫った。歯科医療の未来がかかった選挙である。これまでの歯科

医院いじめ、患者・国民いじめの政治の流れを変え、明るい未来を切り開く選挙としたい。今の政治状況は、日本

日本経団連は、社会保障への企業負担をいっそう減らすため、医療費抑制の要となるレセプトオンライン請求の義務化を法律も変えずに実行させようとしている。同時に

介護保険料も引き上げて歯科にかかれぬ」「税金が急に高くなると歯科受診どころではない」「遅くまで仕事で歯科に受診できない」「保険証を取り上げられて医療にかかれぬ」など、患者が歯科へ受診出来ない状

(表1) 日本経団連と自民・民主の政策合致度(日本経団連作成)

政策	自民党	民主党
経済再生、国際競争力強化に向けた税制改革	A	B
将来不安を払拭するための社会保障改革	B	B
民間活力を引き出すための規制・行政改革	A	B
グローバル競争の激化に即応した通商・投資・経済協力政策の推進	A	B

(表2) 参議院選挙各政党アンケート(保団連)

法律名	自民	公明	民主	共産	社民
1-被用者保険、国保、後期高齢者医療制度の「窓口負担を軽減する」ことについて	その他	その他	その他	賛成	賛成
1) 健保本人、健保家族の入院を2割負担に引き下げる	その他	その他	その他	賛成	賛成
2) 国保を2割負担に引き下げる	その他	その他	その他	賛成	賛成
3) 70歳以上の高齢者は1割負担とする	その他	その他	賛成	賛成	賛成
4) 就学前までの子どもは無料とする	その他	賛成	賛成	賛成	賛成

歯科受診できない患者をつくる政府

歯科医院・患者いじめの政治の転換を

大きな問題がある。日本経団連は、企業献金を受け取る意思のある自民党・民主党の政策を評価している(表1)。自民も民主も日本経団連の顔色をうかがって政策を決定

の是正をするためとして社会保険分野への外国人就労の規制緩和などを堂々と提案している。

一方庶民は、「給料が安くて歯科医療費に回せない」「年金が少なくて

況が生まれている。各党の医療費負担政策を見ると、窓口負担の2割への引き下げに賛成しているのは、共産党と民主党だけである(表2)。

自民党・公明党・民主党は、「その他」と明確な回答を避けた。政権担当政党の自民党

負担になった直後、共産党・社民党と共同で「2割負担に戻す」法律を国会に提案した。しかし、今回の回答からは2割負担に戻す政策が読み取れない。

国民・患者が安心して、いつでも、どこでも歯科を受診できる状況をつくるのが私たち歯科医師の責務である。参院選は、そのための意思表示の場としたい。

小泉政権のひずみを受け継いだ、「美しい国」は揺れ始めている。

各種相談室

専門家がおこたえします

雇用相談

【日時】8月23日(木)午後2時～4時
【相談者】堀口正二社労士

法律相談

【日時】9月3日(月)午後2時～4時
【相談者】河村武信弁護士

歯界

昔から恐ろしいものを表す言葉として「地震、雷、火事、おやじ」と言われているが、今回は台風が重なる。新潟中越沖地震は、04年の地震が引き金になって、断層のひずみが高くなり起きたといわれている。地震を起した断層が、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の直下まで延びている可能性があることが分かった。さらに、放射性物質を含んだ水が海に放出されるなど、トラブルが相次いでいる。地震の多い国にある原発の耐震性および必要性が問われる。

参議院選挙の投票日が迫っている。貧困と格差社会、改憲に暴走する安倍政権は、真価を問われる時期である。定率減税廃止で住民税増税が行われ、選挙後は消費税の増税まで議論されようとしている。国保の取り上げによって医療が受けられなくなる状況もあるなど、国民の貧困は深刻である。